

一般社団法人 茨城県建築士会

令和8年度 第2回 情報・広報委員会 次第

と き 令和8年7月21日（火） 午後 3：00～

ところ 水戸市笠原町 978-26『茨城県市町村会館』 2階 202会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 議 題

1) 会員増強運動について

2) 会報「けんちく茨城」No,119号の感想、意見会

3) 会報「けんちく茨城」No,120号の発刊と編集方針について

4) 建築士会 Web サイト、および、Facebook について

5) その他

5 その他

6 閉 会

令和8年度 新入会員【正・準会員 21名 + 賛助会員 4社】						
No	支部名	氏名	勤務先	紹介者	紹介者役職	備考
1	賛助会	(一社)茨城県建設業協会		柴 和伸	会長	関係団体
2	筑波	坂本 俊一	コンチネンタルホーム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
3	筑波	西村 拓也	コンチネンタルホーム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
4	筑波	春原 莉帆	コンチネンタルホーム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
5	県央	福本結城子	(有)高槻建築設計事務所	高槻 一雄	元副会長	所員
6	賛助会	(株)孝建		久保田吉文	常務理事	企業
7	筑波	石田 和子	(株)暖喜	松田 祐光	支部長	準会員
8	筑波	櫻井 顕司	(株)須藤設計	松田 祐光	支部長	所員
9	筑波	菱沼 大晃	(株)須藤設計	松田 祐光	支部長	所員
10	ひたちなか	岩田 隆之	(株)IWARC	川又 晴彦	支部長	所員
11	県央	田村 涼子	(株)安心確認検査機構	轡田 久恵	女性委員長	所員
12	県央	米川 潤也	鈴縫工業(株)	和田 淳一	会員委員会	所員
13	県央	清水 碩斗	清水建設(株)	清水 洋一	会員委員会	準会員
14	筑波	三輪 光夫	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	女性委員会	再入会
15	筑波	三井 健吾	(株)エム・スタイル	茂垣 直樹	情報・広報委員	所員
16	日立	白土 里子	(株)安心確認検査機構	石黒 洋子	総務委員会	所員
17	日立	大高 正裕	日立市役所	遠田 正樹	市役所の先輩	職員
18	鹿島	平山真理子	Re'plus建築設計事務所	安藤 秀浩	鹿島支部会員	所員
19	久慈	大内 裕貴	大木建設(株)	和田 昭一	元会員(上司)	所員
20	結城	高松 来海	小貫建設(株)	小貫 勝重	元支部長	所員
21	石岡	福島 典昭	(株)福島工務店	吉田 良一	元青年部長	所員
22	北相馬	山田 正敏	(株)コウキ建設	根本 博行	会員(上司)	所員
23	県央	佐藤 朋子	T'Design(株)	なし		再入会
24	賛助会	(株)大貫測量設計		若林 純也	賛助会代表幹事	企業
25	賛助会	(株)ティーエムユニオン		若林 純也	賛助会代表幹事	企業

令和7年度 新入会員の一覧【正会員 23名 + 賛助会員 9社】						
No	支部名	氏名	勤務先	紹介者	紹介者の役職	備考
1	県庁	荘司 泰久	(一財)茨城県建築センター	柴 和伸	会長	社員
2	賛助会	茨城県鉄構工業協同組合		柴 和伸	会長	関係団体
3	賛助会	茨城県塗装工業組合		柴 和伸	会長	関係団体
4	賛助会	(公社)日本建築家協会		柴 和伸	会長	関係団体
5	筑波	竹田 陽市	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
6	筑波	山形 郁夫	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
7	筑波	矢口 重文	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
8	筑波	長瀬 光昭	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
9	筑波	松本 浩司	坂東市役所	相澤 晴夫	副会長	職員
10	筑西	山中 陽子	(有)アーキテック	中山 和朗	常務理事	知人
11	県央	高島 浩司	(株)戸頃建築設計事務所	小川 憲一	総務委員長	所員
12	県央	櫻井 郁美	SaCRAFT建築設計事務所	石黒 洋子	総務委員	知人
13	県央	関 勇太	KITAI建築設計事務所	石井 邦明	研修委員	知人
14	県央	四ツ倉 昌佳	鈴縫工業(株)	和田 淳一	会員委員会	社員
15	鹿島	久米 健一	(株)高正建設	高橋 文男	まちづくり委員	社員
16	県央	平戸 豊	(株)石川建築研究所	石川 啓司	支部常務	所員
17	県央	大橋 美幸	果実建築設計室	滑川 浩一	相談役	取引事務所
18	県庁	萩元 悠文	(株)安心確認検査機構	舞木 善郎	安心確認の役員	社員
19	石岡	古木 いずみ	古木建設	三輪 清司	支部長	取引会社
20	石岡	小田 邦江	(有)ナオエ総合設計	菊池 直衛	元副支部長	所員
21	土浦	井坂 公一	(株)インフィート一級建築士事務	永井 昭夫	支部長	知人
22	土浦	児玉 理文	あや設計 一級建築士事務	石坂 健一	元支部長	取引事務所
23	筑波	戸塚 かおり	(株)安心確認検査機構	若柳 綾子	ヘリテージ	取引事務所
24	筑波	加藤 侑	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	ヘリテージ	所員
25	日立	櫻岡 佳太	(株)白土工務店	先輩と交代	先輩	社員
26	竜ヶ崎	柳町 龍哉	(株)柳建設	先輩と交代	先輩	社員
27	賛助会	コマツ茨城(株)		会員委員会 清水 洋一様		企業
28	賛助会	(株)タナカ 住宅資材部門 茨城支店		潮田 充様(元常務理事・元支部長)		企業
29	賛助会	(株)テクニティ		賛助会 代表幹事 若林様		企業
30	賛助会	(株)関川畳店		賛助会 代表幹事 若林様		企業
31	賛助会	昭和工機(株)		設備設計協会の会員		企業
32	賛助会	宇賀神電機(株)茨城営業所		設備設計協会の会員		企業

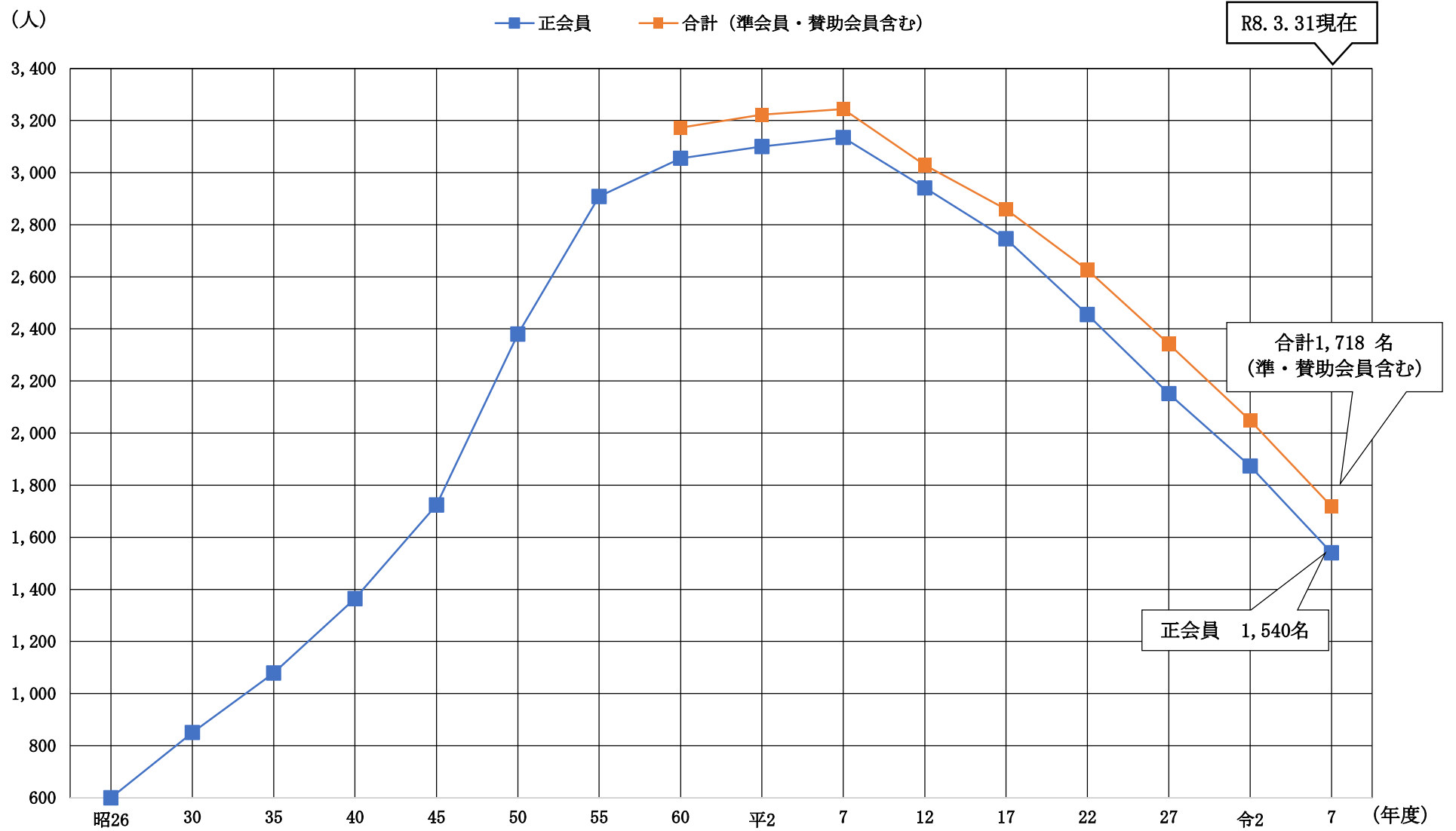
会員数の増減 比較（H10年と、R8年7月の比較）

会員数					
順位	士会名	H10年末	士会名	支部数	R8年7月
1	東京	8,510	東京	12	4,210
2	北海道	7,843	北海道	34	3,208
3	愛知	7,350	愛知	21	2,910
4	大阪	7,005	大阪	---	2,040
5	長野	4,545	神奈川	9	1,932
6	神奈川	4,220	福岡	14	1,915
7	新潟	3,943	長野	14	1,807
8	福島	3,534	鹿児島	13	1,600
9	山口	3,500	茨城	23	1,558
10	兵庫	3,364	広島	7	1,540
11	広島	3,280	山口	13	1,467
12	千葉	3,268	千葉	21	1,458
13	静岡	3,214	新潟	15	1,370
14	群馬	3,208	愛媛	10	1,340
15	茨城	3,185	和歌山	9	1,180
16	福岡	3,175	香川	5	1,170
17	鹿児島	2,964	兵庫	14	1,167
18	岩手	2,752	岩手	13	1,143
19	富山	2,660	埼玉	14	1,133
20	宮城	2,620	福島	17	1,123
21	秋田	2,463	熊本	13	1,120
22	愛媛	2,462	石川	11	1,099
23	京都	2,426	岡山	11	1,076
24	岡山	2,400	島根	11	1,070
25	熊本	2,380	京都	8	1,083
26	埼玉	2,370	栃木	12	1,035
27	栃木	2,307	群馬	12	1,036
28	石川	2,248	大分	14	999
29	香川	2,105	富山	8	986
30	徳島	2,074	静岡	不明	985
31	大分	2,042	秋田	8	885
32	宮崎	2,024	徳島	9	869
33	長崎	1,999	山梨	10	845
34	岐阜	1,940	長崎	10	842
35	島根	1,900	佐賀	11	852
36	青森	1,729	岐阜	8	823
37	福井	1,710	宮崎	10	832
38	鳥取	1,627	青森	10	811
39	山形	1,593	沖縄	15	792
40	奈良	1,571	高知	14	785
41	滋賀	1,557	福井	8	766
42	山梨	1,521	山形	9	768
43	三重	1,482	三重	10	670
44	和歌山	1,465	滋賀	8	631
45	高知	1,411	宮城	14	603
46	佐賀	1,376	奈良	10	625
47	沖縄	1,060	鳥取	3	570
合計		135,382			58,729

建築士数					
順位	士会名	合計	H27.3月	R6.5月	
		建築士 計	一級	二級	木造
1	東京都	164,148	71,116	92,389	643
2	大阪府	90,869	30,787	59,318	764
3	神奈川県	67,886	29,432	37,948	506
4	愛知県	62,094	20,474	40,132	1,488
5	埼玉県	54,064	19,089	34,629	346
6	北海道	51,642	12,457	38,560	625
7	兵庫県	49,879	16,629	32,538	712
8	福岡県	46,376	14,036	31,939	401
9	千葉県	42,812	17,201	25,149	462
10	京都府	32,380	7,469	21,236	3,675
11	静岡県	30,752	7,993	22,119	640
12	広島県	29,032	9,584	18,946	502
13	新潟県	25,565	5,251	19,720	594
14	宮城県	21,646	5,765	15,349	532
15	長野県	20,780	4,796	15,518	466
16	茨城県	19,907	4,724	14,929	254
17	群馬県	17,466	4,192	12,984	290
18	福島県	16,943	3,001	13,716	226
19	岐阜県	16,610	4,582	11,577	451
20	岡山県	16,334	3,861	12,380	93
21	熊本県	14,920	3,488	11,137	295
22	石川県	14,645	3,381	10,951	313
23	山口県	14,059	3,525	10,342	192
24	滋賀県	13,328	3,073	9,825	430
25	富山県	13,144	2,747	10,012	385
26	栃木県	13,139	3,136	9,875	128
27	三重県	13,086	3,449	9,248	389
28	愛媛県	12,707	2,827	9,738	142
29	山形県	12,410	2,012	10,218	180
30	鹿児島県	11,993	3,168	8,603	222
31	奈良県	11,965	3,807	7,854	304
32	秋田県	11,550	1,665	9,662	223
33	香川県	11,356	2,826	8,381	149
34	岩手県	11,243	2,016	9,061	166
35	長崎県	11,124	2,392	8,493	239
36	大分県	10,926	2,739	8,083	104
37	宮崎県	10,831	2,354	8,170	307
38	福井県	10,335	2,303	7,926	106
39	青森県	10,162	1,908	8,048	206
40	沖縄県	8,844	2,255	6,581	8
41	徳島県	8,652	1,772	6,802	78
42	和歌山県	8,263	1,830	6,328	105
43	島根県	8,162	1,818	6,106	238
44	高知県	7,500	1,482	5,931	87
45	山梨県	7,159	1,601	5,490	68
46	佐賀県	6,741	1,594	5,009	138
47	鳥取県	5,671	1,276	4,262	133
合計		1,171,100	358,883	793,212	19,005

R7.4月	383,923
H27.3月より	+ 25,040
R7.4月合計 1,196,140 ← 約 120万人	

会 員 推 移 (5年きざみ) 令和8年3月31日現在まで



		平成9年3月31日		令和7年10月15日		令和8年5月7日			
級別	一 級	1,203	37.5%	1,017	62.4%	993	62.7%		
	二 級	1,867	58.1%	570	34.9%	549	34.7%		
	木 造	55	1.7%	7	0.4%	7	0.4%		
	その他	87	2.7%	37	0.1%	35	0.1%		
計		3,212	100.0%	1,631	100%	1,584	100%		
		平成9年3月31日		令和7年10月15日		令和8年5月7日			
年齢別	20歳代	194	6.0%	11	0.7%	11	0.7%		
	30歳代	598	18.6%	52	3.2%	48	3.0%		
	40歳代	1,144	35.6%	276	16.9%	259	16.4%		
	50歳代	776	24.2%	423	25.9%	437	27.6%	内、50才～54才	233名（53.3%）
	60歳以上	500	15.6%	869	53.3%	829	52.3%		
計		3,212	100.0%	1,631	100%	1,584	100%		
				女性 151名 9.2%		女性 148名 9.3%			
				60歳台・・・454名（27.8%）		60歳台・・・410名（25.9%）		内、60才～64才	192名（46.8%）
				60歳以上のうち、 70歳台・・・362名（22.2%）		60歳以上のうち、 70歳台・・・368名（23.2%）		内、70才～74才	218名（59.2%）
				80歳台・・・50名（+9名）		80歳台・・・47名（▲3名）		内、80才～84才	33名（48.9%）
				90歳台・・・2名（±0名）		90歳台・・・4名（±2名）			

令和 7 年 度 事 業 報 告

1. 会員の状況（正会員・準会員）

ブロック	区分 支部名	令和 7 年 3 月 31 日現在			令和 8 年 3 月 31 日現在			増 減 B - A
		正会員	準会員	計 B	正会員	準会員	計 A	
県北 ブロック	北 茨 城	人 10	人	10	人 10	人	10	人 0
	久 慈	56	1	57	48	1	49	△ 8
	高 萩	21		21	21		21	0
	日 立	79	2	81	76	2	78	△ 3
	ひたちなか	85	2	88	81	2	82	△ 5
県央 ブロック	鹿 島	49		49	49		49	0
	県 央	315	4	319	297	4	301	△ 18
	県 庁	103	4	107	104	4	108	1
	行 方	46		46	43		43	△ 3
	銚 田	34		34	30		30	△ 4
県西 ブロック	古河さしま	49		49	47		47	△ 2
	桜 川	39	5	44	37	4	41	△ 3
	下 妻	36	3	39	36	3	39	0
	常 総	40	1	41	40	1	41	0
	筑 西	76	2	78	64	2	66	△ 12
	坂 東	29	1	30	27		27	△ 3
	結 城	33		33	33		33	0
県南 ブロック	石 岡	70		70	71		71	1
	稲 敷	25		25	24		24	△ 1
	北 相 馬	52		52	47		47	△ 5
	筑 波	144	2	146	148	2	150	4
	土 浦	183	10	193	174	10	184	△ 9
	竜 ケ 崎	36		36	33		33	△ 3
	計	1,611	37	1,648	1,540	35	1,575	△ 73

2. 賛助会の状況

賛助会員数	社	社	社
	137	143	6

令和元年度事業報告

1. 会員の状況（正会員・準会員）

ブロック	区分 支部名	平成31年3月31日現在			令和2年3月31日現在			増減 B - A
		正会員	準会員	計 B	正会員	準会員	計 A	
県北ブロック	人 人				人 人			人
	北 茨 城	16		16	13		13	△3
	久 慈	68	1	69	63	1	64	△5
	高 萩	31		31	31		31	0
	日 立	111	6	117	105	6	111	△6
県央ブロック	ひたちなか	106	4	110	103	4	107	△3
	鹿 島	53		53	51		51	△2
	県 央	402	3	405	387	3	390	△15
	県 庁	114	2	116	113	2	115	△1
	J R 水 戸	18	1	19	18	1	19	0
	行 方	72		72	63		63	△9
	鉾 田	45		45	41		41	△4
県西ブロック	古河さしま	63		63	63		63	0
	桜 川	48	6	54	46	6	52	△2
	下 妻	38	2	40	38	3	41	1
	常 総	49	1	50	47	1	48	△2
	筑 西	100	2	102	97	2	99	△3
	坂 東	38	1	39	38	1	39	0
	結 城	47	1	48	44	1	45	△3
県南ブロック	石 岡	77		77	74		74	△3
	稲 敷	26		26	25		25	△1
	北 相 馬	62		62	60		60	△2
	筑 波	134	1	135	151	1	152	17
	土 浦	223	11	234	217	11	228	△6
	竜ヶ崎	52		52	50		50	△2
	計	1,993	42	2,035	1,938	43	1,981	△54

2. 賛助会の状況

賛助会員数	社	社	社
	142	143	1

過去に実施した、会員増強の各施策 一覧

1	県庁支部 100%入会のお願い → 何回もお願いに歩く
2	市町村役場の職員の入会 お願い → DM ㊦ (課長や市長宛て) + 木.耐.診等やっている;市町村を歩く
3	声掛け運動のお願い → 理事・支部長・委員長・委員会・会員 → 会議や ㊦ 同封
4	再入会のお願い → 退会者で、過去お知り合いだった人などに声掛け方法の紹介
5	事務所協会の名簿から、非会員のリスト作成 (役員会へ資料提供)
6	建設業協会の名簿から、地域別に調べる方法の提示 (役員会へ資料提供)
7	賀詞の出席団体へ、賛助会員の入会案内を郵送 ㊦ + 知り合いに声掛け (R7年と、R8年)
8	入会者 (正会員・賛助会員) の紹介リスト作成 (役員会へ資料提供)
9	会員数の変遷について、折れ線グラフを作成 (役員会へ資料提供)
10	キャッチコピーの作成 (若者アンケート + Chat GPT) 「集え!!未来を創る建築士!!」
11	毎月の郵送物へ「入会申込書」を同封
12	講習会・セミナー等のイベントで「入会申込書」を配布し、入会の声掛けお願い「アナウンス」
13	免許登録・変更登録・図書購入者へ「入会申込書」を配布し、入会のお願い「アナウンス」
14	HPで入会メリットページの作成し、お知らせ欄等で繰り返しPR
15	インスタ (R8年4月) + FB (H26年頃)、スレッズ等のSNSで、若者向けに発信
16	「建築士・建築士事務所の閲覧」で検索する方法を役員会へ提示し、所長へ所員の勧誘のお願い電話もした
17	You Tube配信 「建築士の日」記念講演(古谷会長等)のPR (会誌「建築士」、HP、メルマガ、SNS、チラシ等)
18	その他 ()

科目	No	士会ブランド・楽しい・交流・親睦・情報・限定・趣味・サービス等について	その他
地域貢献	1	建築士の 試験監督 、違反建築パトロール活動、地元 支部活動に協力する楽しみを得ましょう。	活動・貢献
	2	空き家相談・調査、住宅相談 、耐震診断調査、 応急危険度判定活動 (県内外)などに 貢献しましょう。	調査・相談
会員限定	3	建築士の 仲間 全国に 60,000人 も会員が居る最大組織(茨城は1,600名)に 入会して楽しみましょう	人・情報・交流
	4	全国誌:会誌「建築士」 の毎月発刊 60,000部	情報
	5	保険「けんばい」 建築士賠償保険 (格安の掛け金で補償充実)	保険＝福利厚生
	6	メルマガ、SNS等 の講習オンデマンド等の会員の為の情報	情報・研修
	7	全国大会 へ(約3,000人参加により 研修・親睦・見学会 など) 参加して楽しみましょう ・・・R7大阪 R8群馬	交流・親睦
	8	関ブロ青年大会 へ(約400人参加により 研修・親睦・見学会 など) 参加して楽しみましょう ・・・R7東京 R8群馬	交流・親睦
	9	全国女性建築士協議会 へ(200人参加により 研修・親睦・見学会 など) 参加して楽しみましょう ・・・R7山形 R8東京)	交流・親睦
	10	青年委員会・女性委員会の活動参画による仲間との 楽しい交流 ・研修・研鑽・貢献活動	情報・交流・親睦
	11	さまざまな職種の会員と事業や委員会での 交流 (職種は、設計・施工・行政・メーカー・研究所等の建築士)	情報・交流・親睦
	12	親睦事業 (納涼会、賀詞交歓会、ゴルフ、ボウリング大会等)へ 参加して楽しみましょう	交流・親睦
会員優先	13	研修参加(法改正等の講習会、見学会、セミナー、体験学習等への参加)	研修・研鑽
その他	14	CPD制度・専攻建築士制度への加入	啓発制度
	15	法定講習の案内及び参加(定期講習、技術講習会、その他:監理技術者、既存住宅状況調査)	情報・研修
	16	講習受講料の割引、図書等の割引	金
	17	eスポーツ大会(格闘技等も)、オンラインゲーム(マリオ、ドンキー等)、卓球・テニス・フットサル・ソフトバレー等	スポーツ・親睦・交流
	18	カードゲーム(ポケモン・遊戯王) ベイブレード、ベーゴマ、将棋、囲碁、麻雀、ボードゲーム(人生ゲーム)等	趣味・親睦・交流
	19	家族で参加できる → 東京ディズニーランド・シー、大阪USJ、三鷹の森ジブリ美術館、愛知ジブリパーク等のテーマパーク	家族・交流
	20	ハリポタ、鉄道・航空・船の博物館、キッザニア、豊洲市場、浅草買い物、	博物館、市場・買物
	21	任天堂スイッチ、プレステ、ストリートファイター、ドラクエ、ファイナルファンタジー、デュエルゲーム、	ゲーム世代大会
	22	ミュージカル、歌舞伎、コンサート(アイドル、ロックバンド、クラシック、)等の見学・参加補助	コンサート等



一般社団法人
茨城県建築士会
Ibaraki Society of Architects & Building Engineers
(建築士法第22条の4に基づく団体)

建築士会携帯サイト



☎ 029-305-0329



茨城県水戸市笠原町 978-30 建築会館 2F
営業時間：9時～17時（昼休み12時～13時）
[メールで問い合わせ](#)

Home

入会メリット

建築士免許申請

書籍・保険（けんばい等）

お役立ち情報

アクセス

Home > 入会メリット

Home

入会メリット

建築士免許申請

書籍・保険（けんばい等）

お役立ち情報

建築士・建築士事務所の間覧

アクセス

メールで問い合わせ

茨城県建築士会について

CPD制度・専攻建築士

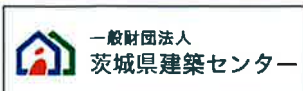
賛助会員企業のご紹介

建築法規など

委員会用ページ

リンク集

受験情報



バナー広告募集中

お役立ち情報

入会メリット（建築士法第22条の4に基づく団体です。ぜひご入会を!!）

入会方法

入会申込書（PDF）
（正・準会員）

賛助会申込書（PDF）
（企業会員）

賛助会員について

入会メリット（建築士の仲間＝一生の宝）集え！未来を創る建築士！！

（全国47都道府県の建築士会では、地域に貢献し会員限定の様々な情報・研修を提供中）

【さあ、あなたも建築士会に入会し一生の仲間を作って楽しみましょう!!】

地域に貢献します！（創立75年、県内外で活躍しています）

会員のための様々な情報！！（会員限定サービス、非売品、割引など）

（1）会員のための「共済補償制度」（**会員限定**）
（「けんばい」加入のために建築士会へ入会するかた多数）

（2）メールマガジン（**会員限定**）・ホームページ

（3）講習会、講演会、見学会、懇親会、総会、セミナー、まちづくり事業などの案内

（4）月刊機関誌『建築士』の配布（**非売品**）

（5）会報誌『けんちく茨城』（**非売品**）

（6）本会編集刊行図書及び斡旋図書の割引頒布

全国大会や青年・女性・支部イベント、親睦・交流事業！！（県内および全国各地で交流）

入会方法（正会員・準会員、賛助会員（企業））

正会員の場合

入会資格	茨城県内に在住又は在勤の方で、一級・二級・木造建築士の資格をお持ちの方。
入会金	2,000円（令和4年度から無料）
本部年会費	15,600円
支部年会費	15,600円前後（合計 31,200円前後）

※支部によって異なります。詳しくは入会希望支部へお問い合わせください。

※ご入会支部は原則として、住所地または勤務地の管轄支部となりますが、友人・知人などの関係で23支部どこでも選べます。

準会員の場合

さあ、建築士会へ!!

茨城県建築士会では県内24支部および、青年・女性委員会などの各委員会において
色んな研修・セミナーや交流活動を行っています。
また、会員限定の「けんぱい」建築士賠償責任補償制度も充実しています。

Home	建築士免許申請	会員の入会メリット	書籍・保険	お役立ち情報	アクセス
------	---------	-----------	-------	--------	------



(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

士会HP



紹介者会員					年 月 日本受付	
年 月 日 入会を申し込みます。						
フリガナ氏名			性別	男 ・ 女		
生年月日	昭和 年 月 日生まれ 平成		会報誌送付先	自宅 ・ 勤務先		
現住所	〒		Eメール			
			T E L			
勤務先名称			Eメール			
勤務先住所	〒		T E L			
			F A X			
級 別	1 級 ・ 2 級 ・ 木造					
建築士免許登録番号	取得県 県 第 号		登録年月日	年 月 日		
支 部 名	支 部 長 印		会 員 種 別	正会員 ・ 準会員		
※事務局記載						
※会員番号		※顔写真		※名簿	※会報	

ご注意：記載は楷書で丁寧にお願いいたします。また、顔写真1枚を添えてください。

(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

会員種別	賛助会員	申込年月日 年 月 日
(フリガナ) 事業所名	印	
(フリガナ) 代表者	郵送物宛名 ☐	
(フリガナ) 担当者	郵送物宛名 ☐	
所在地	〒□□□□—□□□□	
電話番号	() —	
FAX 番号	() —	
E メールアドレス		
HP アドレス		
事業内容		
紹介者		

※ **入会金 1万円(初年度のみ)** ☐ **年会費 4万円** ☐

※ 受付年月日 年 月 日

※ 受付 No. _____

会報「けんちく茨城」Vol.120 構成表(案)				2026年 7月16日(木) 現在
	内容	原稿	写真	備考(原稿の担当者など)
表1	表紙 ()			表紙の作品企業へ ()
表2	目次			高野高速印刷㈱
1	新委員長 挨拶			総務:横須賀氏、会員:加藤氏
2	〃			まちづくり:清水氏、青年:谷氏、女性:轡田氏
3	建築作品紹介(表紙の案件)			
4	〃 〃			
5	建築士会 顧問に聞く			白田 信夫 県議会議員
6	〃			伊沢 勝徳 県議会議員
7	新入会員の紹介 4名			別紙
8	〃 〃			
9	先輩会員を訪ねて 2名			別紙
10	支部だより(県央支部)			8/8「第119回建築セミナー」
11	〃 (下妻支部)			6/2「スキルアップセミナー」
12	〃 (筑波支部)			6/3「見学会～まちづくり鹿嶋の取り組みについて～」
13	〃 (土浦支部)			7/25「見学会」
14	空き			
15	空き			
16	委員会事業報告(総務委員会)			7/10「納涼会」
17	〃 (〃)			〃
18	〃 (会員委員会)			6/25「チャリティゴルフ大会」
19	〃 (〃)			8/22「ボウリング大会」
20	〃 (情報・広報委員会)			7/30「木造住宅耐震診断士養成講習」
21	女性委員会 わくわくセミナー			6/27「手賀沼周辺の指定文化財を訪ねる」
22	女性委員会 わくわくセミナー			7/25「木のぬくもりあふれる子育て空間を訪ねて」
23	女性委員会 ラブアークセミナー			7/4「施設見学会」
24	女性委員会 ラブアークセミナー			7/11「チョークアート」ワークショップ
25	広告			
26	広告			
27	広告			
28	広告			
表3	広告			柴設計
表4	裏表紙			建築作品紹介の写真一枚

※ 広告 現在5万 申込み(建築作品企業を除く)

・・・ [建築作品の企業には、広告 0.5頁2万以上を依頼する](#)

新入会員インタビュー 候補者リスト

ブロック	No	支部	年齢	氏名		紹介者		入会月	備考
県北	1	日立	48	大高 正裕	氏	遠田 正樹	氏	5	
	2	久慈	50	大内 裕貴	氏	和田 昭一	氏	4	
	3	ひたちなか	55	岩田 隆之	氏	川又 晴彦	氏	5	
県央	4	県央	28	米川 潤也	氏	和田 淳一	氏	5	
	5	県央	47	福本結城子	氏	高槻 一雄	氏	5	
	6	県央	48	田村 涼子	氏	轡田 久恵	氏	6	
	7	県央	62	三上 紀子	氏	藤原由貴子	氏		
鹿行	8	鹿島	43	平山真理子	氏	内芝 良吉	氏	4	
県西	9	結城	22	高松 来海	氏	小貫 勝重	氏	4	
県南	10	筑波	26	菱沼 大晃	氏	松田 祐光	氏	5	
	11	筑波	30	春原 莉帆	氏	相澤 晴夫	氏	4	
	12	筑波	39	三井 健吾	氏	茂垣 直樹	氏	7	
	13	筑波	41	櫻井 颯司	氏	松田 祐光	氏	5	
	14	筑波	45	西村 拓也	氏	相澤 晴夫	氏	4	
	15	筑波	48	坂本 俊一	氏	相澤 晴夫	氏	4	
	16	筑波	50	石田 和子	氏	松田 祐光	氏	4	準会員
	17	石岡	55	福島 典昭	氏	吉田 良一	氏	5	
	18	北相馬	60	山田 正敏	氏	根本 博行	氏	5	

先輩会員 候補者リスト(年齢順) 7/13

支部名	氏名	年齢
県庁支部	栗原 博之	81
県庁支部	田口 紘治	81
県庁支部	石川 博義	80
鹿島支部	笹本 憲也	80
ひたちなか支部	古谷 俱章	79
ひたちなか支部	大内 賢一	79
県央支部	内山 一志	79
県央支部	鴨川 博明	79
県央支部	舟幡 健	79
県庁支部	檜村 弘明	79
鹿島支部	小沼 勝巳	79
石岡支部	安藤 豊志	79
筑西支部	黒川 厚太郎	79
土浦支部	木幡 秀成	79
土浦支部	中川 富夫	79
北茨城支部	伊藤 義博	79
北茨城支部	迫 祥三郎	79
竜ヶ崎支部	阿部 英彦	79
竜ヶ崎支部	渡辺 勇	79
ひたちなか支部	加藤 良一	78
県央支部	池崎 栄二	78
県央支部	櫻井 幸夫	78
県央支部	保立 健	78
県央支部	木村 哲夫	78
行方支部	内堀 勝美	78
坂東支部	大久保 正男	78
桜川支部	市村 洋	78
鹿島支部	八本 邦男	78
鹿島支部	馬場 敏文	78
鹿島支部	小林 廣司	78
石岡支部	飯塚 泰助	78
石岡支部	宇田 勇	78
石岡支部	藤岡 和雄	78
筑西支部	山本 義人	78
筑波支部	渡辺 友行	78
筑波支部	飯島 繁	78
土浦支部	飯田 宗光	78
土浦支部	小松崎 邦夫	78
土浦支部	板倉 康久	78
土浦支部	中村 進	78

北茨城支部	鐵 庄吉	78
北相馬支部	遠藤 總平	78
竜ヶ崎支部	矢口 美男	78
竜ヶ崎支部	吉田 守	78
竜ヶ崎支部	岡田 隆夫	78
竜ヶ崎支部	成田 孝成	78
ひたちなか支部	熊倉 政光	77
下妻支部	鈴木 敏男	77
県央支部	斎藤 章	77
県央支部	松田 豊	77
県央支部	林 邦雄	77
県央支部	飯島 隆	77
県央支部	岩坂 澄夫	77
県央支部	安達 芳男	77
県央支部	宮本 一美	77
県央支部	成田 隆義	77
県央支部	小沼 隆志	77
県央支部	守田 義広	77
県央支部	寺門 博志	77
県央支部	小室 晶	77
県央支部	深沢 清治	77
県央支部	舩井 英二	77
県央支部	大内 常男	77
県庁支部	所 英雄	77
県庁支部	桐原 修	77
県庁支部	金子 英三郎	77
古河さしま支部	鈴木 芳男	77
行方支部	潮田 健一	77
高萩支部	佐藤 利雄	77
鹿島支部	高島 明夫	77
鹿島支部	立岩 啓二	77
常総支部	福田 明良	77
常総支部	高野 武	77
常総支部	染谷 正昭	77
石岡支部	古木 利郎	77
筑西支部	飯島 敏	77
筑西支部	豊田 常雄	77
筑西支部	中島 貢	77
筑波支部	染谷 勇	77
筑波支部	荒井 政雄	77
筑波支部	山関 忠	77

筑波支部	羽田 清	77	高萩支部	中井 信行	76
筑波支部	風見 勝雄	77	坂東支部	鈴木 光與志	76
土浦支部	福島 和男	77	桜川支部	栗山 義夫	76
土浦支部	塚本 克己	77	桜川支部	角田 一	76
日立支部	皆川 厚臣	77	鹿島支部	笹本 健次	76
日立支部	岩崎 一茂	77	石岡支部	長津 忠男	76
日立支部	大塚 廣美	77	筑波支部	大類 裕幸	76
日立支部	富田 義光	77	筑波支部	吉原 稔	76
日立支部	斎藤 則夫	77	筑波支部	富田 利男	76
日立支部	木田 源一	77	土浦支部	枝川 優	76
鉾田支部	酒井 宗衛	77	土浦支部	青山 孝夫	76
北茨城支部	前田 公博	77	土浦支部	石田 直行	76
北相馬支部	田畑 邦雄	77	土浦支部	前川 泰秀	76
北相馬支部	上原 正	77	土浦支部	三村 登志雄	76
北相馬支部	小神野 修	77	土浦支部	宮内 清次	76
ひたちなか支部	小林 政雄	76	土浦支部	高橋 優	76
ひたちなか支部	大蔵 喜美	76	日立支部	井上 裕	76
下妻支部	霜村 修	76	日立支部	落合 信一	76
下妻支部	吉田 茂	76	日立支部	篠原 良	76
久慈支部	大高 宗一郎	76	鉾田支部	遠峰 一男	76
久慈支部	根本 誠一	76	鉾田支部	吉川 一夫	76
結城支部	立堀 佳美	76	北茨城支部	横山 政雄	76
結城支部	清水 進	76	北相馬支部	石川 勝意	76
結城支部	増山 英大	76	竜ヶ崎支部	田村 喜郎	76
県央支部	大槻 薫	76	竜ヶ崎支部	岡田 久雄	76
県央支部	杉浦 太平	76	ひたちなか支部	小田 充	75
県央支部	小沼 良一	76	ひたちなか支部	大内 久男	75
県央支部	丸山 好史	76	ひたちなか支部	川上 均	75
県央支部	大枝 良治	76	稲敷支部	有坂 久江	75
県央支部	鈴木 健	76	久慈支部	海老根 敬司	75
県央支部	横山 善樹	76	久慈支部	菊池 輝美	75
県央支部	津田 政昭	76	県央支部	菱刈 和郎	75
県庁支部	黒澤 利勝	76	県央支部	渡辺 章夫	75
県庁支部	梅原 喜久郎	76	県央支部	北村 廣美	75
県庁支部	高野 正博	76	県央支部	小林 一生	75
県庁支部	守能 和親	76	県央支部	吉田 雄一	75
県庁支部	中野 一美	76	県央支部	飯田 亨	75
県庁支部	児玉 厚	76	県央支部	関田 和義	75
古河さしま支部	大島 敏男	76	県央支部	浅野 寛	75
古河さしま支部	染谷 一郎	76	県央支部	池田 昭一	75
古河さしま支部	和田 恒夫	76	県央支部	渡辺 美津子	75

御 見 積 書

2026年7月14日

一般社団法人 茨城県建築士会 様

株式会社 高野高速印刷

代表取締役 高野 秀樹

本 社 〒310-0035 茨城県水戸市東原2-8-1
TEL 029-231-0989 FAX 029-221-4176
平須工場 〒310-0853 茨城県水戸市平須町1822-122
TEL 029-305-5588 FAX 029-305-5533

金額 ￥ ×

品名	規格	数量	単価	金 額
① けんちく茨城 全32頁_本文28頁 モノクロ	A4	1,750	152.40	266,700
〃 全32頁_本文28頁 内_カラー2頁	A4	1,750	170.00	297,500
〃 全32頁_本文28頁 内_カラー4頁	A4	1,750	185.40	324,450
② けんちく茨城 全28頁_本文24頁 モノクロ	A4	1,750	141.40	247,450
〃 全28頁_本文24頁 内_カラー2頁	A4	1,750	158.80	277,900
〃 全28頁_本文24頁 内_カラー4頁	A4	1,750	173.20	303,100
※ 消費税は含まれておりません。				
備 考 ① 全頁数 32ページ (表紙4頁・本文28頁 内カラー印刷)、中綴じ				小計 ×
② 全頁数 28ページ (表紙4頁・本文24頁 内カラー印刷)、中綴じ				消費税 ×
表紙_マットコート 93.5k (4c/1c) 本文_マットコート62.5k (スミ1c/1c)				合計 ×

けんちく茨城スケジュール 作業予定表

2026年7月14日

2026年（7月）			
日付	曜	作業工程	実績
1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		
12	日		
13	月		

原稿入稿は、部分的にご用意が出来た時点で結構なのでお預かりできれば幸いです。

※今年度の8月～9月は大型連休があり入稿～初校正までの日数が必要になってきてます。

原稿入稿から初校正提出まで、約10～12日ほど予定。

校正につきましては、多少前後する可能性がありますので、ご了承下さい。

校正完了日から納品までは約8日程を予定しております。

2026年（8月）			
日付	曜	作業工程	実績
1	土		
2	日		
3	月		
4	火		
5	水	原稿入稿	事務局→高野
6	木		
7	金		
8	土		
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		
14	金		
15	土		
16	日		
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		
21	金		
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木		
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		

2026年（9月）			
日付	曜	作業工程	実績
1	火		
2	水		
3	木		
4	金	校正提出	高野→事務局
5	土		
6	日		
7	月		
8	火		
9	水		
10	木		
11	金	校正 戻り	事務局→高野
12	土		
13	日		
14	月		
15	火		
16	水		
17	木		
18	金	校正提出	高野→事務局
19	土		
20	日		
21	月		
22	火		
23	水		
24	木		
25	金	校正 戻り	事務局→高野
26	土		
27	日		
28	月		
29	火		
30	水		

2026年（10月）			
日付	曜	作業工程	実績
1	木	3校正 提出	高野→事務局
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火	3校正 戻り	事務局→高野
7	水		
8	木		
9	金	最終校正 提出	高野→事務局
10	土		
11	日		
12	月		
13	火		
14	水	最終校正 戻り	事務局→高野
15	木	校正終了	
16	金	最終確認・下版準備	
17	土		
18	日		
19	月	印刷～製本 作業	
20	火		
21	水		
22	木		
23	金		
24	土		
25	日		
26	月	印刷～製本 作業	
27	火		
28	水	仕上げ加工・梱包	
29	木	納品（発行）	
30	金	予備日	
31	土		

令和8年度～9年度 情報・広報委員会 事業担当（案）

■会報誌の企画・編集

けんちく茨城120号（秋季号）

担当委員：武居副委員長、浅野委員、村上委員

写真撮影：大納涼会

委員会報告：木造住宅耐震診断士養成講習会、応急危険度判定士養成講習会

けんちく茨城121号（新年号）

担当委員：石黒委員、山田委員、永瀬委員

写真撮影：賀詞交歓会

けんちく茨城122号（総会号）

担当委員：谷島委員、茂垣委員、谷田川委員

写真撮影：総会・懇親会

けんちく茨城123号（秋季号）

担当委員：武居副委員長、石黒委員、谷島委員

写真撮影：大納涼会

委員会報告：木造住宅耐震診断士養成講習会、応急危険度判定士養成講習会

けんちく茨城124号（新年号）

担当委員：茂垣委員、村上委員、谷田川委員

写真撮影：賀詞交歓会

けんちく茨城125号（総会号）

担当委員：山田委員、浅野委員、永瀬委員

写真撮影：総会・懇親会

■建築士会Webサイト、SNSの企画・運用

担当委員：山田委員

■木造住宅耐震診断士養成講習会、応急危険度判定士養成講習会の運営

※開催前に各委員へ都合確認

令和8年度～令和9年度 各委員会名簿

[illegible][illegible]



座談会

chairperson
conversation
meeting

「委員長抱負を語る」

【司会】
武居 公江
情報・広報委員会
副委員長

▶ 司 会

本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

新年度になり、7つの委員会のうち、5人の方が新委員長になられましたので、新たにそれぞれの抱負を語っていただくということで座談会を企画致しました。

▶ 小川 総務・企画委員会 委員長

建築士会に入ってから総務一筋でやってきました。

総務・企画は運営に関することで、特に財政関係、収入・支出を考えることが一番大きいかと思っています。また新しい企画を考えていく委員会でもあります。

今、会員減少・高齢化をどうするかが課題です。最近、活気がないのでそれを考えていかなければいけない状況です。そのためには、他の委員会との横の連携をもちながら、若い人が入ってきやすい、やりがいのある企画・体制等、どのようにすれば建築士会の状況がよくなるかを考えています。

▶ 小葉 研修委員会 委員長

青年部の委員から入り、青年部長を経験してきました。

研修委員会は建築士試験運営の協力をさせて頂いてますが、年々、受験者の推移が如実に減っているのが目にみえまして、これは若い世代の受験者の減少です。また、この委員会の特徴は、講習料が建築士会の事業収入となっていることです。講習会の参加者を増やすことが一番の目的で、会員以外でも参加を呼び掛けています。

CPDも点数が取れるような企画など、会員以外の受講者を増やすことに苦労しています。マンネリ化しないように頭をひねっているところです。

▶ 根本 会員委員会 委員長

会員委員から入り、10年と続けています。一番の目標は会員拡大です。

ゴルフ・ボウリング・日帰り見学会・作品展と一年を通して行事があり、会員拡大の一つと思って日々努力しています。今年は2名の若い委員をメンバーに迎え、その仲間が広がればいいかな、と思っています。会員拡大の一つになってほしいです。ただ、若い人は社員が多いですから、所属会社で委員会に出やすい環境を作ってほしいですね。

▶ **大山 情報・広報委員会 委員長**

総務・企画委員会に6年所属していました。初めての情報・広報委員会での活動になります。

各委員会との接点を広げ、広報誌を通じて皆さんの活動を紹介していくことがメインの業務になっています。

広く情報を集めて紹介し、共有していくことを一番に考えていきたいと思います。情報コミュニティとして、人が集まる場所、情報を集める場所の機能を果たしたいです。

また、会員相互の交流や、会員以外で資格を持っている人への情報発信拠点として人が集まる企画をしていきます。

▶ **岩永 まちづくり委員会 委員長**

委員会に所属して9年になります。私は長崎出身で、つくばに来てから20年になります。

まちづくり委員会では、今まで茨城県内の古い建物を冊子にまとめることをやってきましたが、私はよそもの的な旅行気分で調査し茨城を知っていく形でやらせてもらっていました。

長崎と茨城、人間性やいろいろなものが違ってきます。よそ者の目でいろんなものに気づく役割ができればいいな、ということで委員会を盛り上げていきたいと思っています。

▶ **早川 青年委員会 委員長**

青年委員会には6年ぐらい所属しています。今、活性化に行き詰まっているので、青年委員会の活動を見直し、活動の活性化と会員拡大を考えています。魅力作りの議論をして変化していきたいです。交流会等の参加の声掛けや魅力ある事業の構築を話し合い、実行していくつもりです。

▶ **浜中 女性委員会 委員長**

女性委員会に組織変更する前の女性部から所属しています。

セミナーと見学会をこれまでのように活発に行っていくと同時に、様々な社会の課題と向き合い地域住民との交流ができればと思っています。

▶ **司 会**

お話を伺っていると、若い方にいかに入会していただくか、そのためにはどのようにしたらよいか、が課題のようです。

今後、委員会の横の繋がりを活用して、いかに魅力ある茨城県建築士会創りをするか、楽しみにしています。

本日はありがとうございました。



小川 憲一

総務・企画委員会
委員長



小葉 拓巳

研修委員会
委員長



根本 勝義

会員委員会
委員長



大山 早嗣

情報・広報委員会
委員長



岩永 至功

まちづくり委員会
委員長



早川 敏史

青年委員会
委員長



浜中 本子

女性委員会
委員長



はくた のぶお

おもな経歴：県議会活動／監査委員（2回）・第104代県議会議長歴任
現在、営業戦略農林水産委員会、決算特別委員会、国体・障害者スポーツ大会推進
調査特別委員会の各委員茨城県環境審議会・茨城県スポーツ推進審議会の各委員

「建築士の英知を 存分に発揮し、空き屋 対策への取り組み、安全 安心で快適な家づくりを」

茨城県建築士会顧問・茨城県議会議員
白田 信夫 氏

茨城県建築士会顧問・茨城県議会議員 白田信夫
氏に伺いました。

一県議会議員として、どのようなことに取り組
んでいらっしゃいますか。

平成6年初当選以来、終始変わらないのは、
地元地域の代表として、県産材を公共事業に、
或いは県内で使用すること、そして、県内業者
に最優先で仕事を発注できる環境にすること
であります。また、現在は、それに加えて、社会
資本の整備（陸、海、空）を押し進め、将来、
茨城が日本で一番住みやすい魅力的な地域にな
ることでもあります。それには、ソーシャルイン
クルージョンを理念として、県民の皆様が力を
合わせ、助け合い、健康で文化的な生活を実現
できる、茨城県民の底力を確信しているところ
であります。建築士会の皆様と一緒に頑張って
参りたいと思います。

一会の顧問活動として印象に残ることはありま
すか。

会員の皆様は、様々な事業で頑張っておられ
ますが、特に、『ヘリテージマネージャー』の
誕生は、建築士として専門家ならではのことで
あり、大変すばらしいことだと思っております。
また、地球温暖化対策の取り組みとして、
数年前から行われていた『苗木配布活動』は、
緑化運動を推進していることもあり、大変良い
活動だと思っております。そして、NPO法人
等にも積極的に協力し、色々なところへ応援団
としてご活躍されており、今後も末永く続けて
頂きたいと思っております。

一大切にしていること、趣味として続けている
ことはありますか。

趣味は、散歩と体力維持の為の運動でありま
す。特に、ゴルフのドライバーで260ヤードに挑
戦中であります。

一座右の銘があれば教えてください。

故郷を愛する心に限りなし『愛郷無限』、こ
れにつきます。

一建築士会会員に向けてのメッセージをお願い
します。

平成27年、政府より『空家等対策の推進に関
する特別措置法』が施行され、全国820万戸に及
ぶ空家に対する対策が講じられました。県内にお
いても、実にほぼ7軒に1軒は空家であり、
各自治体が、空家対策協議会等を設置し、具体
的な成果を上げている自治体もありますが、対
策が進んでいないのが現状であります。

また、建築確認件数はリーマンショックの
影響で、平成21年度に全国件数が前年度比約
10%減の約50万件となり、県内でも、前年度
比約12%減の約1万5千件まで落ち込みました
が、昨年度は全国件数で約56万件、県内で約
1万7千件となり、リーマンショック前の水準
まで回復し、近年ではほぼ同じ件数で推移して
おります。

地域別の件数としましては、県南地区や県西
地区で全体の約60%を占めており、つくばT
Xや圏央道が開通した首都圏に近いエリアでの
建築が多い傾向にあります。このような環境の
中、今こそ、建築士会の皆様が活躍する機会
であると思います。欧米においては、80年から
100年は、安全、安心な快適な家づくりを求め
ており、これからは、土地を買うのではなく、家
を買う（中古住宅）時代となりつつあります。
ぜひ、皆様が先頭となり、英知を存分に発揮さ
れ、ご活躍をお祈りし、また、私も微力では
ございますが、桜川市でも進めている調整区域
内の地区計画の設定等、皆様の後押しを精一杯
行って参ります。（聞き手＝情報・広報委員会
浅野 祐一郎）



いざわ かつのり

おもな経歴：平成14年、茨城県議会議員に初当選し、現在4期目／議会運営・決算・総務企画・文教治安・土木企業の各委員会にて委員長を歴任。現在、茨城県監査委員。平成25年より当会顧問に就任。

「災害に強い 県土づくりには、 建築士・建築士会の 力が欠かせません。」

茨城県建築士会顧問・茨城県議会議員
伊沢 勝徳 氏

茨城県建築士会顧問・茨城県議会議員 伊沢勝徳氏に伺いました。

一県議会議員として、どのようなことに取り組んでいらっしゃいますか。

元気ある茨城の実現に向けて七つの目標を掲げ取り組んでいます。一つ目は、「福祉」です。3世代家族で育った経験を活かしています。二つ目は、「交流拠点づくり」。夢のある地域の発展を目指します。三つ目は、「産業の活性化」。四つ目は、「安心・安全」です。消防団の一員として治安の確保を目指します。五つ目は、「男女共同参画社会」。女性議員の秘書の経験を活かして、働く女性の支援に取り組んでいます。女性の社会進出・活躍は大切なことですので、結婚・出産・子育てに伴う負担を、政治の立場から少しでも軽くしていきたいと考えています。そして、六つ目は、「元気な土浦」。土浦で育った地元っ子として元気のあるまちづくりを推進します。

最後に七つ目となりますが、「ひとづくり」です。私自身も子育て世代ですので、「子供たちの将来のためのまちづくり」に力を入れています。今の地域社会のより良いものを次世代につなげていき、茨城の未来を創る「人財」を育てることが、最も大切だと思います。

一顧問として、建築士会の活動をどのようにとらえていますか。

私は、地元で消防団活動をしておりませんが、団員として東日本大震災を経験したことをもとに「災害に強い県土づくり」「安心・安全なまちづくり」を訴えています。県民の生命・財産を守ることは政治の一番大切な使命であります。耐震診断・耐震補強等を始め、建築士・建築士会の果たす役割はきわめて大きいものがあります。

技術が進めば進むほど、建築の専門性も問わ

れるでしょうし、少しでも被害が軽減できるような活動や助言をいただければと思います。

一「新しい茨城づくり」に向けて、建築士の果たす役割についてどう考えますか。

「新しい茨城づくり」を進めるにあたり「活があり県民が日本一幸せな県」づくりを基本理念とし「新しい豊かさ」「新しい安心安全」「新しい人財育成」「新しい夢・希望」という4つのチャレンジに取り組んでおります。その中でも、特に「新しい安心・安全」について先方の果たす役割は大きいと思います。

先程も申し上げましたが、近年、地震や風水害等大規模な災害が多発しております。建築物やまちづくりのスペシャリストである建築士の専門的な知識や技術等を活かし、県行政に取り入れていく必要があると考えます。

一建築士会会員に向けてのメッセージをお願いします。

特に若い建築士の方々には、挑戦する勇気を持ち、自分たちが中心の世代になったときのまちづくりというものを考えながら活動していただければ、建築士会の発展にもつながると思います。

最後に、建築士・建築士会の皆様のますますのご活躍をお祈りいたします。誠にありがとうございました。

(聞き手＝情報・広報委員会 浅野 祐一郎)

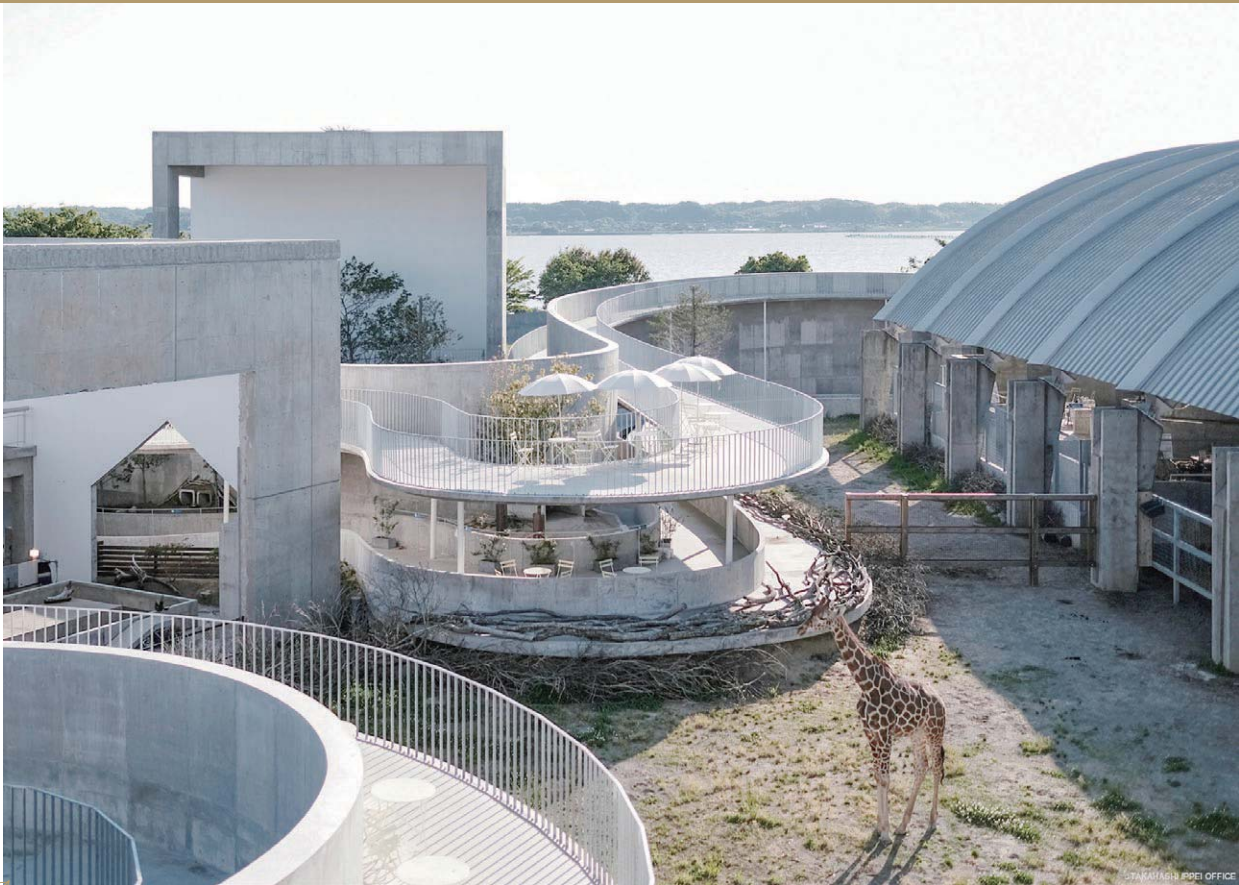


茨城県知事賞「最優秀賞」霞ヶ浦どうぶつとみんなのいえ
●高橋一平建築事務所

第39回

茨城建築文化賞

協賛／(一財)茨城県建築センター (一社)茨城県建築士会
(一社)茨城県建設業協会 (一社)茨城県設備設計事務所協会
後援／茨城県 (株)茨城新聞社 (株)日本工業経済新聞社
(株)日本建設新聞社 (株)建設未来通信社



茨城県知事賞[最優秀賞]

霞ヶ浦どうぶつとみんなのいえ

高橋一平建築事務所

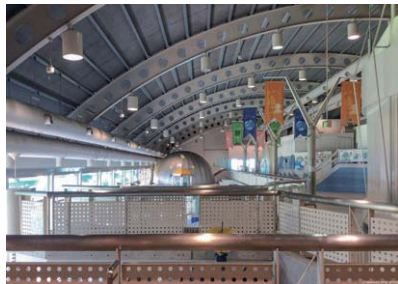
- 住所／神奈川県横浜市西区高島2-5-5,7F
- 協力事務所 構造／小西建築構造設計 電気／環境エンジニアリング 機械／環境エンジニアリング 壁画／長井朋子 施工会社／オカベ 常南グリーンシステム
- 建物所在地／茨城県行方市玉造甲1234 ●建物用途／博物館・動物園・地域交流施設
- 構造／RC、一部S造 ●建築面積／4,025㎡(一部道路工作物) ●延床面積／4,968㎡(一部道路工作物)

人が動物・自然と交流する場所

霞ヶ浦湖畔に建つ廃墟化した旧科学館を再編し、人が動物や自然と交流する場所に変えた。いまや地球は人工物で溢れた。近代はその理知的な所作により人と自然さをかえって遠ざけたが、ここでは限りなく近づけようと試みた。かつて人が築いた世界(旧施設)を解体し光や風、雨や緑を進入させ自然へ還元



いう概念の解体も意味している。自然とは人が統制を企てる世界の外部に存在することを改めて示すべく、旧施設の外部側から絡みつく歩廊を進むと、建築物や霞ヶ浦、空や大地が一つになり、これまでの両者の関係が混ざり合い、時おり反転する。



旧施設の状態



茨城県議会議長賞[優秀賞]

こどもの運動発達のための保育園 ふぁみりは学園

株式会社ツバメアーキテクツ一級建築士事務所

- 住所／東京都世田谷区代田2-36-19 HORA BUILDING 電話／03-6274-8551
- 協力事務所 構造／円酒構造設計事務所 電気／EOSplus 機械／EOSplus
- 建物所在地／茨城県つくば市水堀484-1 ●建物用途／保育園(小規模保育+一時預かり事業) 児童福祉施設(児童発達支援)
- 構造／木造 ●建築面積／467.18㎡ ●延床面積／412.39㎡

空間から育むインクルーシブ、田園にひらく保育空間

診療所に隣接する、同一事業者によるインクルーシブ保育を目指す保育園(小規模保育+児童発達支援)である。心身の障害の有無に関わらず、すべてのこどもが共に過ごす保育を実現するため、事業者との対話を重ねる中で「障害に合わせて空間を規定する」のではなく、「多様な空間の中から主体的に選択できること」を設計の軸とした。周囲の田園風景や既存診療所に馴染むスケールとするため、平屋二棟を雁行配置し、分節されたボリュームを軒先で緩やかにつなぐ構成としている。天井高や構造形式の異なる二つの内部空間に、大小二つの庭、軒下やデッキによる半外部の中間領域を重ね合わせ、感情や身体特性に応じて選択できる多様な居場

所を設えた。裏側に計画されやすい調理室はあえて玄関わきに配置をし、食育や地域との関係性の醸成にも寄与している。周辺の雑木林を借景として取り込み、敷地を超えて回遊性を内包する、のびやかな保育の場を目指した。





土木部長賞[優秀賞] ちらんつくば園

株式会社 ヤマト建築設計事務所

- 住所／水戸市千波町1370-4 電話／029-241-3317
- 協力事務所 構造／SDフレックス 電気／株式会社 池田設備設計事務所 機械／株式会社 池田設備設計事務所 施工会社／水戸土建工業株式会社
- 建物所在地／茨城県つくば市東岡250
- 建物用途／保育園 ●構造／鉄骨造
- 建築面積／1,058.59㎡ ●延床面積／763.84㎡



大きな屋根の下に広がる開放的な空間

- テーマは園児も保護者も先生も楽しい保育園です。
- 大きな屋根の車寄せは、雨天の送迎も円滑に行うことができます。
- 奥行き4.5メートルの大庇を持つテラスは、登園時の雨除け、夏の日差しの抑制に大きな役割を持っています。



- 屋根の一部でもある大庇からの雨水は軒樋から堅樋を持たず直接地上へ吐水させて、雨の日でも楽しむことのできる仕掛けを作りました。
- 地上の雨受け部分は丸太ベンチで囲み、晴れの日には園児たちの井戸端会議の場として提供しています。
- また、大庇先端に水道管を持っていき、そこからプールへの吐水も行い、変化に富んだプール遊びができる仕掛けを持っています。

- 絵本コーナーには子どもたちの隠れ家である「でん」を設け、本棚の一部は保育室につながるトンネルになっています。
- 内部のメイン動線となる廊下は、船底天井とペンダント型照明との組み合わせにより視線を上に向けて開放的な空間としています。
- 住宅地に隣接するこの園舎は平屋建て、且つ、緩勾配屋根として隣接地への影響も最小限に収めています。

茨城新聞社賞[優秀賞] 桜川消防署庁舎

株式会社 andHAND建築設計事務所

- 住所／つくば市東新井29番地13 電話／029-855-3055
- 協力事務所 構造／秋桜構造計画 電気／株式会社 池田設備設計事務所 機械／株式会社 池田設備設計事務所 施工会社／株木・常陸特定建設工事共同企業体
- 建物所在地／桜川市鍛田604番地1 ●建物用途／消防署
- 構造／PCPaC造一部鉄骨造・壁式鉄筋コンクリート造 ●建築面積／3,329.40㎡ ●延床面積／3,829.40㎡

市民が身近に感じることができる、 透明性を備えた消防署

筑波の山並みへと視線を通じるシンボリックで軽やかなリズムを刻む折板状の屋根は、この建築の象徴である。街と署の境界をあえて曖昧に設定すること



で、消防活動を都市の日常へと開放。ガラスを多用した空間構成により、隊員の規律ある活動が外部や内部の諸

空間へと伝わるよう配慮した。「見る・見られる」という双方向の視線をデザインすることで、隊員には守り手としての誇りを与え、市民には信頼感を醸成する。この透明な関係性こそが、消防署の特権的な公共施設から、真に開かれた地域コミュニティの核へと変容が可能としている。また既存杭と新設杭の干渉を精緻に回避した配置計画は、PCPaC工法を採用。建物強度、工期短縮、大スパンの無柱空間を実現することで、消防拠点に不可欠な機能性と将来的な



可変性を確保。これは資産価値の維持と長寿命化、ひいては環境負荷の低減という、公共建築が担うべき経済的・倫理的責任に対する「建築」としての回答でもあると考える。



【住宅部門最優秀賞】 つくばみらい市の住宅

株式会社 濱田慎太建築事務所

- 住所／神奈川県横浜市神奈川区反町2丁目16-5 電話／045-534-3388
- 協力事務所 構造／須藤正尊一級建築士事務所 電気／海老原電機店 機械／株式会社 環境開発 施工会社／有限会社 岡村建業
- 建物所在地／茨城県つくばみらい市 ●建物用途／住宅 ●構造／木造 ●建築面積／150.81㎡ ●延床面積／130.22㎡

緑豊かな環境を守りながら職住一体の暮らしを愛する家

敷地は建主が長年育んできた樹木や、隣接する神社の深い緑に抱かれた長閑な田園風景の中にある。建主は長年この地で職住一体の助産院を営み、自然と地続きの暮らしを愛してきた。本計画ではこの土地の豊かな環境を守りながら、建主の暮らしが風景をより魅力的に醸

造していくような家のあり方を目指した。既存の樹木を最大限残したコンパクトな建物は、単純明快な動線と回遊性をもたせ、室内からはどこにいても周囲の豊かな自然を感じることができる。四方に設けた開口部からは周囲の木々を抜けた心地よい風が室内をめぐり、家全体が呼

吸するように周囲の自然を五感で味わう事ができる。建物外周には奥行き1間ののびやかな下屋を纏わせ、外壁や下屋の軒天には隣接する神社の針葉樹群に呼応するように針葉樹の仕上げを施した。建物の大部分を占める下屋は日射遮蔽や季節風を味わう場に、西側はエノキの大木の木陰で収穫物を調理し食事を楽しむ場へと日々姿を変え、敷地内だけに留まらず周囲への賑わい創出と夜には暮らしの灯りという安心感を与える。

豊かな自然の中で、建主の暮らしが田畑を耕すように生き生きと展開し、この土地がさらに活気に溢れていくことを期待している。



【住宅部門優秀賞】 つくばの平屋

株式会社 サンハウス一級建築士事務所

- 住所／水戸市見和2-547-3 電話／029-257-6566
- 協力事務所 構造／株式会社 エヌ・シー・エヌ一級建築士事務所 施工会社／株式会社 サンハウス
- 建物所在地／茨城県つくば市 ●建物用途／一戸建ての住宅 ●構造／木造 ●建築面積／141.43㎡ ●延床面積／125.38㎡

地域に馴染む、焼杉が包む省エネ住宅

共働き夫婦と小さな子供の4人家族の住まい。

町に開き暮らしを守る、そんな住まいを心掛け設計した。

山側の循環を意識し、外壁に国産材の焼杉を多用した一方で、隣家に接する面は銅板外壁として、焼杉の煤や、万一の延焼リスクに配慮し、意匠とのバランスを図った。

住まいと庭の在り方を模索し、東側境界部には塀を設けず、また、北側にも植栽を施し、地域に馴染む建築として、プライバシー性と、その地域に永年存在するパブリック性の関係を丁寧に紐解いた。

住まいの長寿命化のためには、性能値を示す公的な評価が大切と考え、付加断熱を施し、UA値は0.22、耐震等級3、長期優良住宅の認定、BELSも取得した。

太陽光発電パネルを南面に搭載すると、数値上の発電量は増えるが、日中不在を考慮すると自家消費率は低下する。

朝夕の自家消費率(即時利用)を上げるべく、東西面に設置し蓄電池も設けた。

EV車給電にも使用し、住まいだけでなく、暮らしの省エネ・レジリエンス化を図った。





【住宅部門優秀賞】

街にひらかれたコートハウス

有限会社 宮本建築アトリエ

- 住所／水戸市千波町2274-18 電話／029-244-7711
- 協力事務所 施工会社／内海木材有限会社
- 建物所在地／茨城県水戸市 ●建物用途／一戸建て住宅
- 構造／木造 ●建築面積／221.97㎡ ●延床面積／182.22㎡



開放感とゆとり、爽やかな空間構成の住空間

敷地は偕楽園に近く、住宅等が建ち並ぶ幅員2.7mの閉塞感と圧迫感を感じる一方通行の公道に接している。

間口約20m、奥行き約17mの恵まれた敷地形状、面積を考慮し街の通りに開放感とゆとりを与え、かつ爽やかな印象を与える空間構成を目ざした。

街・通りに面して間口約14m、奥行約3.5mのオープンコートを計画し、さらに住宅との間には連格子を設け、アウトドアリビング・バルコニーといった外部と内部の中間に位置する透けて繋がる空間・

コートを設けた。

車庫と連絡子の切れ目にコンクリート壁を突き出して、アプローチをかたち作り、アウトドアリビングを左手に眺めながらエントランスへと導き、広い玄関ホールを経てその先の玄関コートへと広く連続してつながる空間はこの住宅の主空間であり、建築主の住宅に対する考えを色濃く反映した空間です。又この空間動線の流れが住宅を明確にパブリックゾーンとプライベートゾーンに分離しています。

【入選】

筑西市認定こども園せきじょう整備事業（プロポーザル）

株式会社 若柳建築事務所

- 住所／つくば市台町1-8-1 電話／029-886-8034
- 協力事務所 構造／ASD建築設計室、株式会社 谷組 電気／有限会社EOS plus 機械／株式会社 根本設備設計事務所
- 照査／株式会社 大山都市建築設計 施工会社／田中・常陸・ころ特定建設工事共同企業体
- 建物所在地／茨城県筑西市黒子字無216番7 外6筆 ●建物用途／幼稚園型認定こども園 ●構造／鉄筋コンクリート造一部木造
- 建築面積／2,774.27㎡ ●延床面積／2,533.38㎡

地域の人との触れ合いと、疑問をもつ目を育む農園的空間

この施設は、0歳から6歳までのこども達の施設である。多感で感受性豊かな大事な時期に何を見、体験して育つかということテーマにデザインした。地域と共に学び受け継いでいける仕掛けとして地域名産の果樹体験ができるよう庭を配置し、農園的空間で地域の人との触れ合いが生まれる工夫をした。物事の仕組みに疑問をもつ目を育むためにルーバー天井を採用し設備の見える化を実施。園児が見上げると機械設備の仕組みを垣間見ることができ、“あれなに?”の

心に配慮した。0、1、2歳児の空調は、全空気式床輻射冷暖房システム「ユカリラ」とし床下からの輻射熱で快適な室内環境を実現。午睡の入眠に、照明の色で配慮。室内の吸音性を高めてこども達の声の反響を抑えている。内装は、木質化を計っているが鉄やコンクリートの素材も無垢で使用し素材感を重視した仕上がり。食育のための厨房の見える化や、安全な保育のため保育士のスムーズな動線など協議を重ねてつくり上げた施設である。



【入選】

みどりの会所 アスロメディカル新社屋

株式会社 TOAST

- 住所／神奈川県川崎市多摩区宿河原3-9-1向ヶ丘第1グリーンハイツ107号 電話／090-8342-8149
- 協力事務所 構造／有限会社 オートJAPAN 施工会社／株式会社 三共建設
- 建物所在地／茨城県つくば市谷田部1144-70(陣場F14街区11) ●建物用途／事務所
- 構造／鉄骨造一部木造 ●建築面積／330.03㎡ ●延床面積／559.96㎡

地域とつながる建築のかたち

敷地が軟弱であったため、用途の要望より鉄骨造とする一方、地盤沈下対策や経済合理性の目的から建物の軽量化を図り、屋根架構や床組みを木造とした。

屋根は切妻を基本に、採光のためにずらすことで、明るく柔らかな印象の内部空間となることを意図した。搬出入に必要な大庇を流通材で作る上で、垂木の継手を千鳥状にずらす事で金物や接合部がなく、構造自体が重なるルーバー状の天井仕上げとなった。

鉄骨の塗装や、接合部の見えない納ま



笠間工芸の丘は平成10年の開設以来24年が経過し、センタープラザ、ふれあい工房、創作研修館を中心に老朽化が進行していた。設備面でも省エネルギー化やユニバーサルデザインへの対応が十分でなく、時代の要請に応える改修・増築が求められた。

笠間焼を核に発展してきた本施設には、展示販売や陶芸体験、陶炎祭などを通じ多くの来訪者が訪れている。今後は地域資源のさらなる発信と若い世代の育成・交流を促し、環境配慮と快適性を備えた持続可能な拠点が求められて

り、木質の空間によって、大きな気積を持ちながら住宅のような親密な場所を作ること意図した。

地域の人達が災害時も含め集まるようなオフィスだけに留まらない場を作りたいという要望に応えるため、玄関ホールを建物中央に据え、各室に直接アクセスできる平面としている。

外観は、住宅街に近接した立地から街並みに調和するため、大きな庇、住宅にも近い開口のプロポーションや窯業サイディングの外壁によるものとした。



【入選】

笠間工芸の丘 カフェ

大山都市建築設計

- 住所／筑西市新治1996-56 ●協力事務所 構造／秋桜構造計画 電気／株式会社 東匠設備設計
- 機械／株式会社 菊地設備設計事務所 施工会社／昭和建設株式会社
- 建物所在地／茨城県笠間市笠間字堂ノ越2346-1他92筆 ●建物用途／展示場(飲食店)
- 構造／木造 ●建築面積／282.74㎡ ●延床面積／255.46㎡

工芸文化を未来へつなぐ発信基地

いた。

本工事では外部・設備の改修、LED照明化や空調熱源の電化により省エネ化を図り、内部改修と合わせ新設ギャラリーを整備した。増築したカフェは県産材を活用した木質空間とし、笠間焼等を積極的に用いた。

本改修・増築により、笠間焼の新たな魅力を発信し、地域と来訪者が交わる交流拠点へと再生させ、市民にとっての「庭」や「食卓」となる場を創出し、未来へ持続する工芸文化の発信基地を目指した。





【入選】

フロイデケアタウンひたちなか

株式会社 五井建築研究所

●住所／石川県金沢市問屋町2-1 電話／076-237-8441 ●協力事務所 デザイン監修／スパイラルデザイン株式会社
●建物所在地／①②ひたちなか市大字足崎字西原1474番493 ③ひたちなか市大字足崎字西原1474番490、同番493の一部
●建物用途／①寄宿舎(サービス付高齢者向け賃貸住宅) ②社会福祉施設(小規模多機能型居宅介護)、児童福祉施設等(児童発達支援放課後等デイサービス)
③保育園(認可外保育施設・病児保育)、育成就労支援室(就労継続支援B型)就労支援施設) ●構造／①②③S造り
●建築面積／①594.84㎡ ②421.29㎡ ③427.13㎡ ●延床面積／①988.58㎡ ②782.88㎡ ③390.57㎡



“フロイデ”が生まれる医療拠点

医療法人が進める、約1万㎡の傾斜敷地における全世代・全対象型地域包括ケア拠点の計画です。

超高齢社会が到来した今、医療の役割は大きく変わりつつあります。病院が健康づくりの拠点である“健院”の機能を持つべきだと考え、「健康なうちから病院と関わる機会をつくることで健康寿命を延ばしたい」そのような想いから地域の共生を支える医療・介護と障がい福祉の核となるケアタウン構想が生まれました。

敷地は東西で約5mの高低差がありますが、設置高さが異なる5棟の建物を“地域に開放された”立体的なランドスケープによって緩やかにつないでいます。敷地内外の動線や広場空間を地域と連続させることで、住民が自然に立ち寄り、関わり続けられる開かれた環境を創出しています。“フロイデ(喜び)”の名のもとに、子どもから高齢者、障がいのある方まで、誰もが自然に集い笑顔が生まれる、地域一体の「まちづくり」を実現します。

【リフォーム賞】

鹿島神宮礼賓館

合同会社かたちづくり研究所

●住所／東京都新宿区山吹町361誠志堂ビル3階 電話／090-1031-7600 ●協力事務所 電気／株式会社 関沢電気 機械／秋元設備工業株式会社
改修計画・デザイン監修／まちづくり鹿嶋株式会社 施工会社／鈴縫工業株式会社
●建物所在地／茨城県鹿嶋市宮中2306-1 ●建物用途／神社 ●構造／鉄筋コンクリート造 ●建築面積／191.39㎡ ●延床面積／382.78㎡

令和に生まれ変わる礼賓館

と話し合い、日常の使い易さもデザインに反映しました。修繕ポイントは、次の時代へ継ぐ構造躯体・断熱であり、上下足の段差解消、一部に鹿島神宮の倒木廃材を再利用した家具も取り入れ、来賓を迎える品質にも応えました。

令和の礼賓館として生まれ変わった施設へ、時代の要人を迎えて頂きます。



文化賞
建築
茨城
第39回



審査委員 ※敬称略・順不同・役職は令和8年3月現在

熊澤貴之氏(国立大学法人茨城大学学術研究院応用理工学野教授)

加藤研氏(国立大学法人筑波大学芸術系助教)／山脇博紀氏(国立大学法人筑波技術大学産業技術学部産業情報学科教授)

岩崎克也氏(東海大学建築都市学部長建築学科教授)／柴和伸氏((一社)茨城県建築士会会長)

茨城建築文化賞の講評

茨城大学 教授 熊澤 貴之

【第一次審査の経緯】

令和7年度の第39回茨城建築文化賞の第一次審査は、2026年3月27日に審査委員5名が出席のもと実施された。今年度の応募作品数は31点(大規模建築:8点、小規模建築:12点、住宅:8点、リフォーム:3点)であり、小規模から大規模まで多岐にわたる分野からの応募があった。全体として応募数は昨年度を下回ったが、質の高い作品が多数集まったことで、審査会では活発かつ多角的な議論が展開された。審査は、会場に展示された全作品を審査員が閲覧した後、種別を問わずに一人5票を投じる第一回投票を行った。その結果、まず、3票以上を獲得した4作品が二次審査(現地審査)の対象に選出された。4作品の内、1つは住宅作品であったが、種別を問わず、二次審査の対象とした。第一回投票で2票を獲得した作品は二つあった。その内の1つは住宅作品であったことにより、この作品を住宅部門の「優秀賞」以上に確定した。もう一つの作品については、二次審査(現地審査)の対象に加えた。第一回投票において1票を獲得した大規模建築(1作品)と小規模建築(3作品)の作品については「入選」として選出された。第一回投票において1票を獲得した住宅(2作品)については第二回投票を行い、順位付けを行った。リフォーム部門においては、最高得票作品1点を「リフォーム賞」に選定した。

【第二次審査の経緯】

第二次審査は4月25日に実施され、審査委員5名が5作品を現地にて訪問のうえ審査を行い、その後、会場に戻って最終的な評価を行った。審査では、周辺環境との調和、現代的課題への応答、地域社会への貢献、構造や機能性の工夫、建築文化の継承と発信、美的完成度などを主要な評価軸とし、各審査員が講評を述べた後、各賞に対し一人1票で投票を実施した。尚、住宅部門では、第二次審査を実施した作品を「最優秀賞」に、次点と3位の2作品を「優秀賞」とした。

その結果、以下の通り各賞が決定された:

■茨城県知事賞:「霞ヶ浦 どうぶつとみんなのいえ」

■茨城県議会議長賞:「ふぁみりは学園」

■土木部長賞:「ちらんつくば園」

■茨城新聞社賞:「桜川消防署庁舎」

■住宅部門最優秀賞:「つくばみらい市の住宅」

【現地審査に基づく講評】

■〈茨城県知事賞〉霞ヶ浦 どうぶつとみんなのいえ(高橋一平建築事務所)

この建築は、旧科学館を人が動物と自然に交流する場所に変えた作品である。人と動物が極めて近い距離感で居ながらも双方の安全性を確保するように設計されている。旧建築は解体及び細分化され、新しい空間的な役割を担いながら、新しい建築に組み込まれている。新旧建築を一体化した空間として体験すると、時間軸でつながりながらも新しい時空間を成立していることが実感できる。動線計画では上記の内容に加え、霞ヶ浦など周辺の自然環境との接続についても工夫が見られ、劇的に変化するシークエンスが見られる。以上、動物と人の近接性、新旧の建築の融合性、内部空間と外部空間の接続性に

において卓越した建築空間が設計されていることから、総合的に本賞に最もふさわしい作品として審査員全員の一致した評価を得た。

■〈議会議長賞〉ふぁみりは学園(株式会社ツバメアーキテツワ一級建築士事務所)

これは、天井高や構造形式の異なる二つの内部空間の間に、半外部の中廊下を備えたインクルーシブ保育を目指す保育園建築である。こども達の心身の障害の有無にかかわらず、すべてのこども達が広さや高さが異なる大小さまざまな空間の中から主体的に居場所を選択できるように設計されている。また、半外部の中廊下や庭との接続性を高めることでこの建築を積極的に地域に開こうとする姿勢が見られる。天井高の高い空間の隣に設けられた小空間はカムダウン空間として設置されており、インクルーシブ保育を実施するにあたってこども達に配慮した空間が設計されていることから、利用者は安心できると思われる。インクルーシブ保育に配慮した空間が審査員から評価された。

■〈土木部長賞〉ちらんつくば園(株式会社ヤマト建築設計事務所)

奥行き4.5メートルの大庇を持つテラスが、登園時の雨除けや日射抑制に寄与しながら、外部空間と内部空間を行き来することも達をやさしく包み込んでいる。大庇からの雨水は軒樋から直接地上へ放流され、雨水の落水表情を楽しむことができ、また、室内においてはこども達の隠れ場であるDENを設けるなど、多岐に渡って遊び場を用意している。こども達が楽しめる空間が審査員から評価された。

■〈茨城新聞社賞〉桜川消防署庁舎(株式会社andHAND建築設計事務所)

この消防署は、背景に見える筑波の山々の稜線に調和する屋根形態とガラスの外壁面によって地域社会に開かれた透明性を備えている。住民も利用することができる多目的ホールからは、隊員の様子や消防車両を直接見ることができ、住民の安心感を醸成する建築であることがわかる。外観の様相と内部空間の地域への浸透といった面から、地域のランドマークとなる建築であることが評価された。

■〈住宅部門最優秀賞〉つくばみらい市の住宅(株式会社濱田慎太建築事務所)

この住宅は周囲の樹木に囲まれた田園風景の中にある。最大の特徴は、南側部分のリビング、ダイニング、キッチンから周囲の樹木を眺めることができるので、樹木の葉の様子から季節の移ろいや天候の状態を日常生活の中で常を感じる点である。室内に居ながらも自然と一体である感覚を覚え、リラックスできる。さらに建物の外周に設置された奥行き一間の下屋は日射の遮蔽や季節風の緩和に加え、半屋外のテラス空間になっており、生活に彩りを与えてくれるものになっている。内部空間と外部空間の一体感のある空間が審査員から評価された。

本年度の受賞作品はいずれも、意匠・構造・設備が一体となり、現代の建築的課題に対して創造的に応答する意欲的な提案を示している。それぞれが個性を持ちながらも高い技術的完成度を備え、「一つの建築として完成度の高い作品」として、本賞の理念にふさわしい成果を示している。

来年度以降も、社会や地域の課題に応える挑戦的な建築作品の応募を期待したい。



一般社団法人
茨城県建築士会
Ibaraki Society of Architects & Building Engineers
(建築士法第22条の4に基づく団体)

建築士会携帯サイト



☎ 029-305-0329

茨城県水戸市笠原町 978-30 建築会館 2F
営業時間：9時～17時（昼休み12時～13時）
[メールで問い合わせ](#)

Home

入会メリット

建築士免許申請

書籍・保険(けんぱい等)

お役立ち情報

アクセス



つくばエキスポセンター

Home

入会メリット

建築士免許申請

書籍・保険(けんぱい等)

お役立ち情報

建築士・建築士事務所の閲覧

アクセス

メールで問い合わせ

茨城県建築士会について

CPD制度・専攻建築士

賛助会員企業のご紹介

建築法規など

委員会用ページ

リンク集

受験情報

お知らせ

2026年07月13日08時00分 更新

since 2001.9.15 [1407059]

[More](#)

- 2026.07.13 建築士名簿・建築士事務所登録簿の閲覧システム【5時～24時まで】
- 2026.07.13 一級建築士 登録事項変更届(氏名等) ⇒ 二級・木造建築士は、こちら
- 2026.07.12 7/20締切り 建築士会全国大会「ぐんま大会」申込みサイト
- 2026.07.03 7/25 わくわくセミナー見学会「木のぬくもりあふれる子育て空間を訪ねて」
- 2026.07.10 7/30 茨城県 木造住宅耐震診断士 養成講習会(第2回 8/25) 計 61名申込
- 2026.07.10 8/22 第16回建築士会ボウリング大会のご案内 ⇒ 賛助会員はこちら
- 2026.07.10 9/25 建築士 定期講習 ⇒ 申込みはこちら(普及センター)
- 2026.07.09 建築士免許の確認を!! 免許提示の義務化(建築士法第19条の2)
- 2026.07.08 集え! 未来を創る建築士!! (入会方法) ⇒ ⇒ 入会メリット
- 2026.07.09 建築士会HPに、建築法規などの目次ボタンを追加しました!!!

行政・関係団体より

[More](#)

- 2026.07.13 目詰まり・偏り解消協力 団体・企業リスト【経産省】
- 2026.07.13 宅配便の多様な受取方法の利用率は、約31.0%
- 2026.07.13 まちづくりGXの分野育成・人材育成に向けて産官学連携の連続セミナー
- 2026.07.13 26.4%増加・・・建設工事 受注動態 統計調査(5月分)
- 2026.07.12 耐震診断資格者講習/耐震改修技術者講習【建築防災協会】
- 2026.07.10 断熱材等メーカーの供給見通しに関する情報提供{住宅建材・設備需給情報連絡会}
- 2026.07.10 R8.8.8 建築セミナー【水戸芸術館と水戸市民会館の狭間で】
- 2026.07.09 空き家対策のモデル的な取組を行う事業を決定【国交省】河内町・他
- 2026.07.09 木造官庁施設の設計時に参考となる「木造ディテール参考図」【国・木材利用推進室】
- 2026.07.02 7/31迄 いばらきデザインセレクション2026



あなたの「夢」応援します

日建学院

建築士受験 ライブ講義実施

総合資格学院

一般財団法人
茨城県建築センター茨城県知事指定確認検査機関
株式会社 安心確認検査機構

HEADLINE

[More](#)

- 住宅の耐震対策に関する「かたり調査」にご注意!【国交省】
- あなたの家は大丈夫? 木造住宅の耐震化(1981年5月以前の住宅)【茨城県】
- YouTube配信 あなたの家は大丈夫? 木造住宅の耐震化【茨城県】
- 住まいの『困った』相談窓口【住まいるダイヤル】(国の指定窓口)
- 消費者ホットライン【188(いやや) 局番無し】(国民生活センター)
- 苦情解決業務・お近くの建築士事務所・リフォーム支援隊(事務所協会)
- 消費生活緊急情報・・・屋根工事等の点検商法トラブルが増えています
- YouTube配信 命と暮らしを守る「一室改修」のすすめ 2025建築士の日 記念講演
- 茨城県建築士会インスタグラム開設のお知らせ



ibaraki_kenchikushikai

茨城県建築士会

投稿27件 フォロワー461人 フォロー中448人

ノート...



1951年創立。今年 76年目を迎えます。建築士の皆様にはぜひ一緒に会員として活動・活躍をして頂き、地域支部の皆様と一緒に様々な活動を通して茨城地域ならびに全国の建築士(会・界)に貢献し、100周年を目指して更なる高みへと精進して参ります！

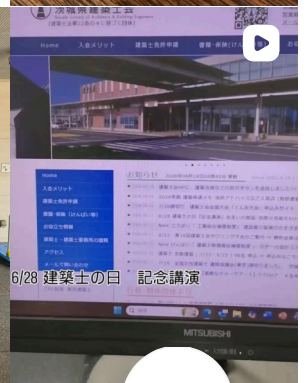
i-shikai.com

プロフィールを編集

アーカイブを表示



新規



令和8年度 建築士会の主な事業日程(月別)

☆ 主な行事予定については、様々な事情により予告なく変更する場合がございます

月	日時	曜日	事業名	会場
7	21	火	情報・広報委員会	市町村会館
	23	木	定期講習	研修センター
	25	土	わくわくセミナー 見学会「木のぬくもりあふれる子育て空間を訪ねて」	阿見町
	26	日	一級+ 木造 建築士試験 「学科の試験」	水戸市内
	30	木	木造住宅耐震診断士養成講習会	県庁9階講堂
8	7	金	正副委員長会議	市町村会館
	7	金	総務企画委員会	市町村会館
	20	木	理事会・支部長会	市町村会館
	22	土	第16回ボウリング大会	大学ボウル 水戸
	25	火	木造住宅耐震診断士養成講習会	県南生涯学習センター
	26	水	まちづくり委員会	青少年会館
	27	木	研修委員会	市町村会館
9	13	日	二級建築士「製図試験」	水戸市内
	25	金	定期講習	研修センター
	26	土	建設フェスタ	笠松運動公園
10	9月～10月		応急危険度判定士養成講習会	県庁9階講堂
	11	日	一級・木造建築士「製図試験」	水戸市内
	16	金	第68回全国大会「ぐんま大会」	群馬県 高崎芸術劇場
11	3	火	第33回 日帰り見学会	関東圏
	17	火	総務企画委員会	市町村会館
	26	木	理事会・支部長会	市町村会館
12	3	木	二級・木造建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
	17～18	木～金	建築士免許 一斉受付（二級・木造）	建築会館
	23	水	一級建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
1	14～15	木～金	建築士免許 一斉受付（一級/二級/木造）	建築会館
	22	金	第22回賀詞交歓会	ホテルレイクビュー水戸
	20～31	水～日	建築パトロール事業 19支部20地区35市町村52班	県内
2	24	水	知事指定講習「建築士会 技術講習会」	研修センター
	26	金	PM ～ 支部事務局会議	ウエストヒルズ水戸
3	16	火	総務企画委員会	市町村会館 中会議室
	25	木	理事会・支部長会	市町村会館 1階 講堂
	3月中		会員美術展	水戸市内
	4月～3月		監理技術者講習(オンライン講習のみ)	R8年～ オンデマンド 可
	5月～3月		既存住宅 状況調査 技術者講習(オンライン講習のみ)	R8年～ オンデマンド 可
※ 状況により、中止・延期・縮小開催、Web、・リモートや想定外の変更もございます。				

令和9年度(2027年度)

月	日時	曜日	事業名	会場
5	27or28	木or金	建築士会 通常総会（予定）	ホテルレイクビュー水戸

この講習会は「建築物の耐震改修の促進に関する法律」における
「木造耐震診断資格者講習」ではありません！御注意ください！

(新規) 令和 8 年度 茨城県木造住宅耐震診断士養成 講習会のご案内

茨城県では、能登半島地震を契機として、木造住宅の耐震診断の更なる普及啓発の強化に加え、事業に係る予算の拡充を図っていることから、耐震診断の申込件数が年々増加しています。

こうした状況に対応するため、木造住宅の耐震性能をチェックする「木造住宅耐震診断士」（県独自の制度）の認定登録をお願いしております。

新規認定を希望される方は、本講習会の受講が必要となりますのでお申し込みください。（受講免除の要件は下段「講習会の受講が免除される方」をご確認ください）

■ 講習会の受講を希望される方

1 講習会の概要

日 時：~~①令和8年7月30日（木）13：00～17：00~~

②令和8年8月25日（火）13：00～17：00

場 所：①茨城県庁 9階 講堂（〒310-8555 水戸市笠原町 978-6） ※無料駐車場有り

②茨城県県南生涯学習センター 中講座室1（〒300-0036 土浦市大和町 9-1 ウララビル 5F）

※近隣の有料駐車場ならびに公共交通機関のご利用をお願いいたします。

募集定員：100名

内 容：総論、県内市町村における補助制度について、

一般診断法・被災度区分判定・精密診断法・補強方法の概要、例題演習

受講要件：(1)及び(2)の両方を満たしている者又は(3)に該当する者

(1) 建築士法(昭和25年法律第202号)第2条第2項に規定する一級建築士で資格取得後5年以上経過した者、又は同条第3項に規定する二級建築士若しくは第4項に規定する木造建築士で資格取得後10年以上経過した者

(2) 同法第23条の規定により茨城県知事の登録を受けた建築士事務所に勤務する者

(3) 前各号に掲げる者のほか、知事が必要と認めた事項に該当する者

受講料：無料

その他：テキスト「2025年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」（（一財）日本建築防災協会発行）をご持参ください。お持ちでない方は、会場内でご購入（9,900円（税込））願います。

2 受講申し込み方法

別紙、受講申込書にご記入の上、下記申込み先へFAXをお送りください。

※申込み締め切り：①令和8年7月15日（水）まで、②令和8年8月7日（金）まで

■ 講習会の受講が免除される方

1 受講免除の要件

○新規認定対象者：前5年以内に、（一財）日本建築防災協会主催の「国土交通大臣登録 木造耐震診断資格者講習（テキスト「木造住宅の耐震診断と補強方法」による講習会）」を受講

2 受講免除対象者の認定申請方法

「茨城県木造住宅耐震診断士認定申請書（様式第1号）」に必要書類を添えて、郵送にて下記申込み先まで申込みください。

※ 上記の講習会を免除する要件を証明する、講習修了証明書の写しの添付が必要です。

■ 問い合わせ・申込み先

（一社）茨城県建築士会 診断士係

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町 978-30 建築会館 2 階

（TEL）029-305-0329 （FAX）029-305-0330

新 規

「茨城県木造住宅耐震診断士」養成講習会 受講申込書

《茨城県建築士会へFAXにてお申込みください。》⇒ FAX: 029-305-0330

※お申込みをいただいた方には、後日、受講券・提出書類等のご案内をご郵送いたします。

※太枠内のみ記入してください。

講習日 (片方を✓)	☒ 令和8年7月30日(木) 茨城県庁 9階 講堂 ※7月15日(水)締切り
	☐ 令和8年8月25日(火) 茨城県県南生涯学習センター ※8月7日(金)締切り
テキスト	2025年改訂版 「木造住宅の耐震診断と補強方法」2冊組 ¥9,900(税込) ☐ 持参する ☐ 購入する (¥9,900)

フリガナ			生年月日	昭・平	
氏 名				年 月 日	
住 所	〒				
	(TEL)		(FAX)		
メールアドレス	@				
勤務先名	(注:事務所登録した名称で記入して下さい。) 事務所登録番号(茨城県知事登録 第 A・B・C 号)				
勤務先所在地	〒				
	(TEL)		(FAX)		
建築士免許証 番号 登録年月日	いずれかを○で囲み、免許証番号を記入してください。 一級建築士 (国土交通大臣 第 号 / 年 月 日登録) 二級建築士 (県 第 号 / 年 月 日登録) 木造建築士 (県 第 号 / 年 月 日登録) ※二級・木造建築士の方は、必ず交付された都道府県名をご記入願います。				

事務局記入欄 (必ず下記の、①及び②の両方を満たしている方に限る)

事務局 チェック欄	① ☐ 一級建築士資格取得後5年以上経過した者、二級建築士又は木造建築士資格取得後10年以上経過した者 ② ☐ 茨城県内で建築士事務所登録を行った建築設計事務所等に勤務する者		
受付番号		受講料	

第16回 建築士会 ボウリング大会のお知らせ(正会員用)

(一社)茨城県建築士会 会員委員会

前略 士会員の皆様には日頃から大変お世話になっております。

さて、早速ですが、親睦ボウリング大会を下記により企画いたしました。会員の皆様には是非、ご参加いただきたい。また、昔とった杵柄をお持ちの方も、ふるってご参加ください。

(会員のご家族も参加可能です。年齢制限もございません。)

(参加者全員に賞品をご用意いたします。豪華景品も、ご期待ください。)

※(女性や子どもにはハンデがありますので、ゲームの行方は全くわかりません。ぜひご参加下さい。)

日 時	2026 年 8 月 22 日(土) PM 14:00 ～ 受付開始 14:30 ゲームスタート 16:00 ～ 表彰式				
場 所	大学ボウル 水戸店 水戸市元吉田町 1059-3 TEL 029-248-3551				
参 加 費	2 ゲーム (2 ゲーム代、貸し靴代を含んだ金額です) 2,000 円 / 人 (大会当日、会場にてお支払い下さい。)				
募集人数	60 名 (先着順です)				
申込締切	2026 年 8 月 7 日(金)				
競技方法	個人戦 2 ゲームのトータルスコアで順位を決定 団体戦 各支部(各組)上位 3 名のトータルスコアにより決定。				
申込方法	下記の申込用紙にご記入の上、FAX またはメール等により申込み。 支部への申込みも OK です。(下記の必要事項を送付ください)				
FAX 029-305-0330 (TEL 029-305-0329)メールアドレス: ibashikai0329@nifty.com					
	お名前	代表者	男・女	支部名・年齢	連絡先TEL(代表者のみ)
1		○			
2		—			
3		—			
4		—			

※ 単独参加も大歓迎でございます。

2026 年度 建築士 定期講習日程 及び 講習会場等について

主催：登録講習機関（公財）建築技術教育普及センター（担当団体：（一社）茨城県建築士会）

1. 受講申し込み方法、受付・担当団体系内

受講申し込みは、原則として主催の普及センターのホームページから インターネットによる申し込みになります。
普及センターHP ⇒ <https://www.jaeic.or.jp/koshu/teiki/off-flow.html>

※ インターネットによる申し込みが困難な方については、普及センターより紙申込書を送付いたします。
ご希望の方は、普及センター(TEL:050-3645-2717)へお問い合わせください。

- (1)担 当 団 体 茨城県建築士会
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階
029-305-0329
- (2)申 込 締 切 各会場とも講習日の約20日前まで（定員となり次第締め切りますので、ご注意ください。）
- (3)受講手数料 12,980 円（テキスト代・消費税含む）

2. 講習日及び講習会場案内、申込受付等

(1)講習日及び講習会場、定員

会場コード	講習日	講習会場名	募集定員	締切り
2A-01	7月23日(木)	茨城県建設技術研修センター	80名	7月3日(金)
2A-02	9月25日(金)	茨城県建設技術研修センター	80名	9月4日(金)

(2)講習会場案内

会場名：茨城県建設技術研修センター 3階 大ホール 住 所：水戸市青柳町 4193
※ 駐車場はございますが、駐車台数には限りがございます。 お車の方はお早めにお越し下さい。

(3)講習の時間割（時間割について、一部変更となる場合があります。）

項目		時間	内容	
受付開始		9：00～	・講習会場への入場及びテキストの配布等	
受講説明		9：25～ 9：30	・講習概要の説明、注意事項の説明	
講 義		9：30～11：35	・建築物の建築に関する法令①（1. 最近の建築関係法令の動き） （ 休憩 5分含む ）	
休 憩		11：35～12：25	・ ・ ・ ・ ・ 50 分 の 昼 食 休 憩 ・ ・ ・ ・ ・	
講 義		12：25～13：25	・建築物の建築に関する法令②（ 2. 建築基準法 3. 建築士法） ・ ・ ・ ・ ・ 10 分 の 休 憩 ・ ・ ・ ・ ・	
		13：35～15：40	・設計及び工事監理に関する科目（ 休憩 5分含む ）	
修了 考査	一 級 建築士	15：50～16：00 （ 注意事項説明 ）	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・設計及び工事監理に関する科目	40 問 正誤方式
	二 級 建築士		・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・建築物（法3条に規定する建築物を除く）の設計 及び工事監理に関する科目	35 問 正誤方式
	木 造 建築士	16：00～17：00 （ 修了考査 ）	・木造の建築物の建築に関する法令に関する科目 ・木造の建築物（法3条及び3条の2に規定する建築物を除く）の設計及び工事監理に関する科目	30 問 正誤方式

- ☆ HBの黒鉛筆かシャープペン、消しゴムを忘れずにご持参下さい。（修了考査で使用します）
- ☆ 受講票もお忘れなく。当日、受付にて受講票をご提示後に、講習テキストをお渡しします。
なお、修了考査において、講義で使用了講習テキストを参照が可能です。